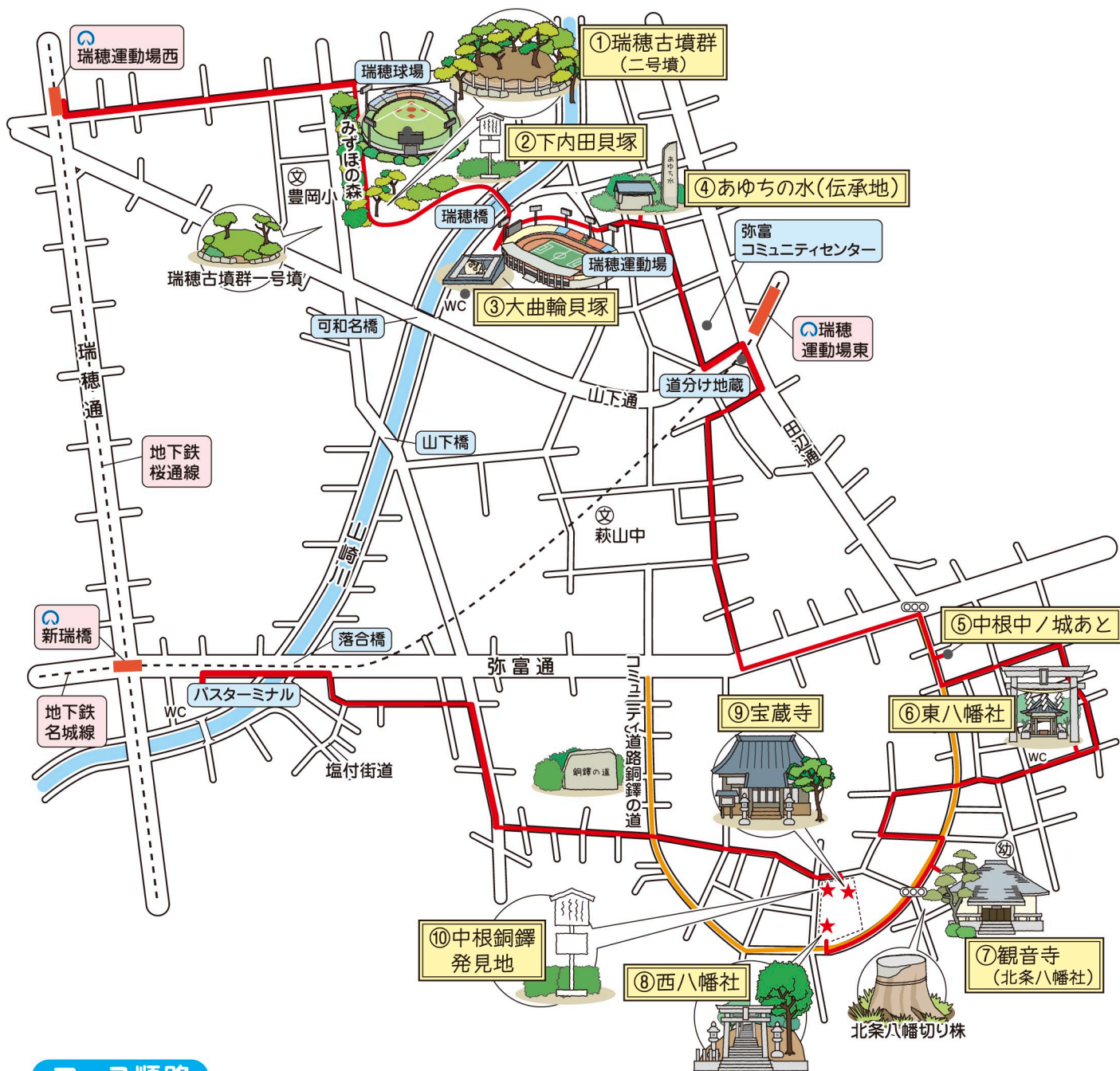
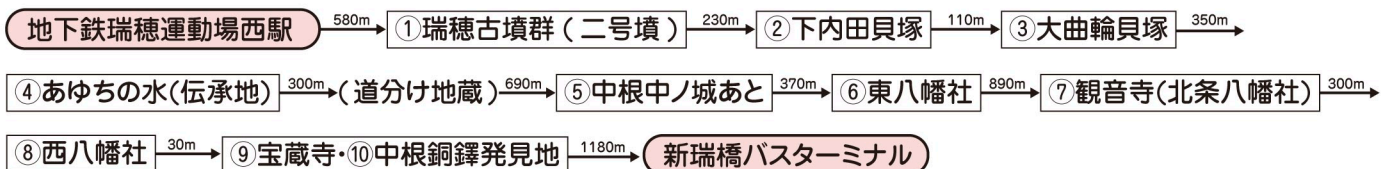


史跡散策路 貝塚と城あとをしのぶみち 瑞穂区



コース順路 (全長約5km)



コースガイド

瑞穂区の歴史は古く縄文時代にさかのぼることができる。大曲輪貝塚、瑞穂古墳群一・二号墳、下内田貝塚など縄文から古墳時代の遺跡が存在し、特に「大曲輪貝塚」には、人骨模型が発見当時そのままに展示されている。万葉集に歌われた「あゆちの水」には奈良時代が、その北にある琵琶ヶ峯の碑では平安時代の恋物語がしのばれる。中根三城は戦国時代に築城されたもの。東八幡社の神事「棒の手」は戦国時代に農民の自衛手段として発達し、刀狩を逃れるために神事としたとも言われている。宝蔵寺に建っている宝篋印塔は江戸時代末期の作で宝篋印陀羅尼經を納めたと明瞭に刻まれている。「貝塚と城あとをしのぶみち」は歴史の流れの道であり、古代から現代へ歴史の散歩が楽しめる。